

# 南高 同窓会会報

発行所  
四日市市大字日永字岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同窓会  
TEL.059-345-3177  
www.4nan.jp/dousou/



## ご挨拶

会長 粕谷 邦男

同窓会会員の皆様におかれましては、益々の御健勝と御活躍を心よりお慶び申し上げます。

一昨年、多くのご支援を頂きました本校50周年記念事業も、今は良き思い出として心に残るものとなりました。今後もより一層、母校発展と同窓会活動の充実のためにお力をいただけることをお願い申し上げます。

昭和48年、当時28歳の時に海外へ33日間の欧州旅行をいたしました。当時は羽田からアンカレッジ経由で24時間以上かかったことを思い出します。

夢にまで見たパリの地で、ピカソなどエコール・ド・パリの若き絵描きが通ったグラランド・シユミエールで終日モデルと向き合う日々。その後は、サンマルタン、クリニャンクール、北駅などで、午前・午後一枚ずつパリの街を油で描きました。当

時の私は、佐伯祐三、藤田嗣治らの巨匠と自分をダブらせた気分浸っていました。

稚拙なフランス語ゆえ、身振り手振りでの毎日、ピフテキとサラダ、ワインしかメニューが読めず、隣席の人の料理を指差したものです。「アン・カルネ」で覚えた地下鉄の乗り方も何度と間違え、絵を描いている後ろで数人の黒人に囲まれたり、ア

クシデントの数々を今でも鮮明に覚えています。怖いもの知らずの当時、日ごとに「パリ」の街に浸透していく自分を実感していました。リスボン、スペイン、イタリヤと周り、先々のパスの中で出会った素敵な人々。パリ同様に一日一日が新鮮で感動深く思い出が宝物として残っています。

その後、私のヨーロッパ旅行は7回におよびますが、その多くは添乗員任せの傾向が強く、カメラには多くの写真を残しましたが自分の心に残る感動は少なかったように思います。

その土地にとどまり、風や音や匂いを感じるこのかけがえのない、28歳のパリでの私は、スケッチすること、その場と同化していく価値を肌で感じる事ができました。

若さは新しい事柄への挑戦を容易くします。年を迎えた世代にも、新しい事柄への挑戦は必要なのではないかと思ふこの頃です。

義父は101歳です。さすがに外出は嫌がる様になりましたが、日経新聞を読み、夕食を子供達の家庭で楽しみ、酒・パイプタバコを気持ちよく口にし、私に芸術論を挑み、本を読み、何にでも興味を示します。可能な限り妥協を許さない彼の姿勢には感心する次第です。物事に興味を持つこ



## ご挨拶

学校長 増田 元彦

本年度から、四日市南高等学校長として赴任いたしました増田元彦と申します。

この学校にきて、驚いたことがいくつかあります。

まずは、正門までの急坂。家用自動車でもやつと上っていきような坂を、元気のいい生徒は毎日自転車で上ろうとしています。その横には、さらに傾斜のきつい徒歩専用の道まで用意されていました。西側には、どこかのお寺に参拝するような、長い長い階段。4月の中旬のある朝、この階段の踊り場で登校してくる生徒に声をかけていると、苦しうに顔にしわをよせてあがってくるのは1年生、上級生は余裕であがってきます。習慣の力を感じます。

次にすつきりしない校舎の構造。特に正門に向かって右側の東館と新東館はほとんど隙間がないのに3階でしかつながないし、本館からの新東館への入口は住宅の裏口程度の隙間になっています。初めて学校を訪れたときには突然建物の隙間から人が現れたのでとても驚きました。

また、校歌にも驚きがありました。谷川俊太郎、武満徹という偉業を残されている方の若き時代の作品だということ、い

わゆる「校歌」らしくないメロディの曲であること、毎朝、8時45分頃に校歌を放送で流していることなどです。はじめてこの放送を聞いたときには、思わず窓を開けてどこで歌っているのか探したほどきれいな歌声でした。この放送がいつ始まったのかははっきりしませんが、少なくとも18年前にはすでに知られていたようです。

本校は昭和34年に創立されて以来、昨年度末で51年となり、18、787人の卒業生を送り出してきました。その一人ひとりの方々が、坂を登り、校歌を口ずさみ、そして様々な青春の思い出を刻まれたことと思えます。

さて、学校は夏季休業をむかえ、部活動に、課外授業にと、活発に生徒が活動しています。この会報にも昨年からの各部活動の活動状況が掲載されると思いますが、文化部、運動部とも生徒達が一生懸命に取り組んでいる姿はまさに青春の只中です。そして、何年後にはこの会報を読みながら、今やっていることを懐かしさとともに振り返る時がくることと思えます。卒業生の皆様には、是非温かな目で見守っていただくとともに、ご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本校卒業生の皆様のご清栄と本校同窓会のご発展を心から祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



第一回東京の集い in 銀座ホテルモントレ (2009年10月3日)

# OB講演会

平成22年7月12日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

芸能史研究者・企画編集者  
前田憲司氏(16期)



学生時代から落語に深い関心を持たれ、大学でも落語研究会で活躍されました。ついでコンピュータソフトの開発会社に入社され、最先端の苛酷な職業と伝統的な落語・芸能研究とを同時に実践された、その人間的な振幅の広さに驚きました。その後転職され東京から伊勢に移り、「おかげ横町」の企画を成功させられました。

その間も芸能史の研究を続けられ、プロの落語家からアドバイスを請われるほど信頼され、また大学で芸能史の講義もされ、文化庁主催の芸術祭の審査員もされています。現在はフリーとなられて地域文化振興のために文筆活動やマスコミの世界で活躍されています。そんな幅広いバイタリティー溢れる前田さんの活動を支えてきたものは、「継続すること」と「人のつながり」を大切にすることです。

「二人の人間とつながると、その人となりがついている多くの人のつながり」という穏やかな語り口から発せられる言葉が力強く響いてきました。

日本テレビ放送網コンプライアンス推進室法務部長  
中井孔人氏(16期)



テレビ業界の仕事についてのお話を通して、大学選択・職業選択についてお話しいただきました。仕事を選ぶ際の心構え、また学生時代にやっておくべきことなど、質疑応答も活発に行われました。

現在のお仕事については、勤務時間が不規則で休みがほとんどないことや、事件現場ではとても危険な仕事だということ。それらを実際にビデオで選挙速報にたずさわる中井さんの姿を見ながら説明していただき、生徒たちは真剣に見入っていました。歴史的な瞬間に立ち会えるなど、この仕事でしか経験できないこと。反面同僚を失ったり、

自分も危険に遭遇したことなど、失うこともたくさんあるという両面性を分かりやすく話していただきました。

「進路選択には自分のやりたいうこと、向いていることを納得のいくまで考えてほしい。一度や二度の失敗を恐れずに、やり直すことも構わないこと。また困難にぶつかった場合は頭を切り替えることや、違った視点で見てもみることも大切。そして学生時代には語学も含め、広く勉強することが大切なこと等々。」熱意のこもったメッセージを頂きました。

三重県農水商工部  
農山漁村室主査  
後藤浩明氏(26期)



「自分の進路を決めたのは金か、電気か、食べ物か」という題でお話を頂きました。始めに、高校時代の思い出、バイオテクノロジーが流行で農学や生物に人気があったことから進路を決められたこと、大学時代には農作物の生育変化に関する研究や、放射線を当てての突然変異の商品を研究されたこととお話頂きました。自分が

進路を決めていく上で最新の情報を得ることが重要であること、まだ進路がしつかり決まっていなくても、いくつかのベターな道を歩んでいけば結構ベストに近い道になるということも、ご自分の体験からお話頂きました。

講演の後半には行政の仕事について法律や条例を実施すること、チェックすることが大きな仕事で、具体的な「獣害」の対策の話は大変興味深いものでした。サルは甘味の感受性が高いシカの雄はたくさんの雌を従える。イノシシは聴覚、臭覚ともに鋭敏であるなど、獣の生態を知り対策を立て、それらのことを被害地域の人々に説明し、被害を少なくすることが必要であるということでした。行政の仕事はその地域に住んでいる方のサポートをすること、という熱いお話から、生徒たちにとつて、イメージしづらい行政の仕事を

知る貴重な時間となりました。

公認会計士  
森智広氏(第36期)



「一度きりの人生、熱く生きた者勝ち」と挑戦が人生を切り開く」という題で講演をして

頂きました。最初に公認会計士の試験や仕事の内容、次に学生時代の話、最後に人生を進んで行く上でのご自身の考え方を熱く、楽しく語って頂き、あつという間に時間が経ちました。

特に印象に残っていることは、森氏の経験の豊富さです。南高校での三年間では生徒会活動、部活動(ラグビー部)に加え、何と争曲部で近畿大会に出場したという経験をお持ちです。等学校行事でたくさんの思い出を作られています。また、大学時代にはヒッチハイクで日本を旅し、インドのガンジス河で沐浴をしたということでも貴重かつ稀な経験をお持ちです。まさに森氏が、その時その時に全力で、そして熱く物事に立ち向かってきた生き様が分かるお話で、心を動かされた生徒も居たに違いないと思います。

森氏の「大学に入ると自らが動かないと何も出来ないし、何も始まらない。自らが動くことにより、無限の体験ができる貴重な四年間は徹底的に挑戦すべき」という言葉も印象に残りました。課題を与えられてそれをこなすというスタイルに慣れてしまっている子どもたちに、一番心に感じて欲しい言葉でありました。

三重大学院生

工学部物理工学博士過程  
山下智樹氏(第42期)

三重大学の大学院で研究を行

われているという立場から、スライドを用いて分かりやすくお話ししていただきました。三重大学のキャンパス全体についてのことから、大学4年間の学習の流れ、そこから修士、博士への過程、さらには就職状況など生徒の今後に関わる内容で、生徒たちには良い刺激になったよう

です。また、工学部の学科の特性やご自身の研究についても詳しく紹介していただきました。学部の中で学科が分かれているものの、より専門的な内容を学ぶのは研究室に入ってからということ、大学・学部・学科選びの際には、そこでどんな研究ができるのかをよくみて選ぶことが大事であるというアドバイスをいただきました。

講演会を通じて一番生徒たちの印象に残ったのは、英語の重要性だったようです。ご自分の専門について、英語で発表したり、英語で質問されたりすること、英語で論文を書くこともあるといってお話に驚いたようで、今している勉強は入試の後も必要なのだという認識を持たせた貴重な講演会となりました。



# 教育実習

今年も教育実習が行われました。第46期生の方々に感想をお聞きしました。

## 井上正隆

46期生

私は初日から授業というところで、きちんと授業できるだろうかと不安を抱えながら実習初日を迎えました。初回の授業は板書で精一杯、生徒の観察どころか、自分で何を話しているか分からなくなるほど余裕のない授業でした。授業後に自分の授業をビデオで見直し、林先生にアドバイスをいただいで次の授業で改善していきました。次第に生徒を観察する余裕も生まれ、同時により良い授業ができるよ

うになったと思います。短い期間ではありませんでしたが、非常に充実した二週間でした。毎日夜遅くまでご指導いただいた林先生をはじめ、助言をいただいた先生方、生徒のみなさん他の実習生のみなさん、ありがとうございます。

## 縣 秀和

46期生

初日、それまでに準備をしてきたのに朝のSHRで生徒の前に立った瞬間、頭の中が真っ白になったのを覚えています。そんな不安と緊張で始まった教育実習も最終日を迎えて、この三週間、本当にたくさんのことを学び、たくさんの方のサポートを感じることができました。

明日からはまた大学生に戻ります。しかし、これまでの私は違います。一年五組のみなさん、南高校の先生方、本当にありがとうございました。

## 近重美佳

46期生

特に生徒の立場に立つ難しさを今回の実習で改めて感じました。実際に授業をしたり、朝のSHRで連絡したりする中で、何をどのように伝えるか、そしてそれが生徒にどう伝わるのかを悩み考える日々でした。今回、このよう

な経験をさせていただき、より一層教師になりたいという気持ちが強くなりました。本当にありがとうございました。

## 堀 恭子

46期生

いつも何かに追われながら、あつという間に過ぎてしまった三週間が、今日で終わりました。実習の始まりに先生に言って頂いた「どんな人の授業にも良い所は必ずある。」という言葉が、私の実習の課題となりました。

しかし実際に授業をしてみると、自分の授業の良い所どころか、授業にすらなっていないということに、何度も悔しい思いをしました。ですが、生徒の優しさや先生方の温かいお言葉に励まされ、三週間の実習を終えることができました。

## 加藤由佳

46期生

三週間お世話になりました。久しぶりに南高生に囲まれ、南高の雰囲気を感じ、その中で生活できて良かったです。

最初はどうか不安でいっぱいだったけどクラスの子や先生方に暖かく受け入れてもらいました。体育祭を通してクラスの子と毎朝大縄の練習をしました。当日はおそろいのクラスTシャツを着てすてきな思い出になりました。

研究授業では少しでも化学のおもしろさを知興味を持ってもらいたく、身の回りのものを使った演示実験を行い、生徒たちの驚いている姿や興味を示している姿を見てとても嬉しかったです。この実習で学んだことを活かしていきたいと思っています。

## これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

# 躍進する部活動

## 水泳部

プールの水漏れにより本校での練習のできない我々は、市営プールや鈴鹿スポーツガーデンを利用し、細々ですが少数精鋭で日々自分磨きしております。今年度の目玉は、沖縄インターハイ出場権を目前にしている平泳ぎの選手がいることです。また、選手がそろえば水球も復活させたいところです。



水泳部 平成22年度 県高校総体水泳競技大会 (鈴鹿スポーツガーデン)

が、まず1勝を目指して日々練習に励んでいます。ご声援をよろしくお願いします。

## バレーボール部

男子は県総体で久々のベスト8入りを果たしました。3年生3人が引退し、部員6名、マネージャー3名というギリギリのところまで活動しています。

女子は県総体では2回戦を勝ち上がったものの、続く3回戦で惜敗しました。3年生6人(マネージャー含む)は引退、部員15名、マネージャー3名で元気に活動しています。

## 野球部

現在部員は、1年生15名、2年生16名、3年生18名、マネージャー5名、計54名です。

文武両道の精神に則り、勉強と部活の両立を基本とし、限られた時間の中で効率的な練習を心掛けております。現役の部員だけではなく、南高校野球部の先輩方の夢でもある「甲子園出場」という目標に向かって、一球入魂、日々練習に励んでいます。

## テニス部

県総体で男子は2回戦敗退、女子が6位となり、昨年度を上回る成績を達成することができました。新1年生が加わり、男子は25名、女子は20名

**ハンドボール部**  
男子18人、女子10人(マネージャー2人)の28人で活動しています。男子は5人しか経験者がいない、女子は1年間の休部を経て再始動した素人集団です



男子サッカー部 平成22年度 県高校総体サッカー競技大会(鈴鹿スポーツガーデン)

で早朝から練習を重ねています。これからも県総体上位入賞を目標に、そしてさらなる好成績を収められるよう日々頑張っていますので、ご支援を宜しくお願いします。

**男子サッカー部**

インターハイ予選を終えて今年度は久しぶりの3位入賞。勉強もしながらの結果は本当にすばらしい。拍手。拍手。この大会を通して生徒達は団結、自信、感動などスポーツの素晴らしい部分を学んだ。保護者、卒業生、友達など多くの人に応援いただいた。ありがとうございました。

**柔道部**

**県総体 女子団体戦 三位**

この成果がチームとしての進歩です。しかし個人ではなく、男子も女子も「部員全員」の結果です。毎日「精神的」に追い込んで稽古するのは、先輩から引き継がれてきた南高柔道部の大切な「魂」です。諸先輩方には多方面より支援していただき感謝しています。今後ともご声援よろしくお願い致します。

**卓球部**

県総体(シングルス)では残念ながら県大会へ出場することができませんでしたが、(ダブルスの部)では1回戦を突破することができました。3年生4名は県総体をもって引退、現在男子部員は2年生が6名、1年生が5名、女子は2年生1名で、次大会での県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

**バスケットボール部**

バスケット部は男子20名、女子8名、マネージャー4名で活動しています。北勢地区には県大会ベスト8以上のチームが男子5チーム、女子5チームあり、激戦区となっています。その厳しい予選を勝ち抜くため日々練習に励んでいます。

**ワンダーフォーゲル部**

ワンダーフォーゲル部は、今年度、女子は全国総体4位、男

子は東海総体3位という結果を出しましたが、本年度は女子が部員0人で休部状態、男子が部員3人と予選にも出場できないのが現状です。部員数には多い少ないの波があります。早く次の波を呼びたいと思います。

**ソフトテニス部**

3年生が引退し、男子は1年生が7名、女子は、2年生が7名、1年生が5名、計19名で活動しています。今年の夏は奈良県への遠征を予定し、練習試合によって、自分たちの技量を磨くよう計画しています。2年生を中心に、飛躍の年にしようとして、日々努力をしていますので、ご支援を宜しくお願い致します。

**バドミントン部**

体育館が他のクラブとの共用の為、平日毎日練習できない代わりに土日にも休みな練習に励んでいます。男女合わせて50人以上の部員がいますが、顧問以外にも外部コーチをはじめよきOBにも恵まれ、練習を見ていただいています。

**剣道部**

本年度は、県総体予選に、6年ぶりに男子5人揃っての団体戦への参戦が果たされました。一回戦は鳥羽高校に勝利し2回戦に進出後、日生第一に敗れ

ました。個人では3年生2名が3回戦まで進出しました。

**女子サッカー部**

ほぼ全員(選手16人・マネージャー5人)が未経験者の素人集団ですが、チームワークは非常によく、明るく楽しくをモットーにしながらも、時にはハードな練習に取り組み県大会優勝という目標に向かって頑張っています。

**陸上競技部**

この6月で引退した3年生は16名(今までになく多い)を除き、男女35名という大所帯で活動しています。昨年度は県高校駅伝で女子が6位入賞を果たし、久々の東海駅伝大会(三重)へ出場しました。また、3000SCでも東海新人大会へも出場しました。今年度の県高校総体は残念ながら6位入賞はなく、東海IH(愛知)への出場はありませんでしたが、リベンジを果たすべく日々練習に励んでいます。

**電算無線部**

電算無線部は現在2年生の男子3名が所属しています。プログラミングに興味があるメンバーですが、ホームページの更新などができるように現在頑張っています。残念ながら無線分野は現在休止中です。

**茶道部**

外部講師の羽木千松先生を迎

え、毎週水曜日に作法室でお稽古しています。今年は、新入部員が少ないので悩みですが、例年、後半に入部してくる生徒も多いので今後を期待しています。

**美術部**

当美術部は、今年新入部員の1年生を3名迎え、2年生は9名、3年生は5名と、総勢17名で活動をしています。今年の南高祭は、作品を学内展示するのに併せ、七宝焼きで作ったストラップを販売しようと、部員達で企画を募り、七宝焼きの作品作りに挑戦しています。みえ高文祭、北勢展に向け、日々、制作をがんばっています。

**美術部**

当美術部は、今年新入部員の1年生を3名迎え、2年生は9名、3年生は5名と、総勢17名で活動をしています。今年の南高祭は、作品を学内展示するのに併せ、七宝焼きで作ったストラップを販売しようと、部員達で企画を募り、七宝焼きの作品作りに挑戦しています。みえ高文祭、北勢展に向け、日々、制作をがんばっています。

**美術部**

当美術部は、今年新入部員の1年生を3名迎え、2年生は9名、3年生は5名と、総勢17名で活動をしています。今年の南高祭は、作品を学内展示するのに併せ、七宝焼きで作ったストラップを販売しようと、部員達で企画を募り、七宝焼きの作品作りに挑戦しています。みえ高文祭、北勢展に向け、日々、制作をがんばっています。

**インターアクト部**

先輩のみなさま、こんにちは。インターアクト部です。私たちは四日市ロータリークラブの援助をいただきながら、地域社会への奉仕と交流を目標として、部員6名で、互いの個性と事情を理解し合いながら活動しています。今年はインターアクト三重県地区協議会のホスト校を務めます。

**イラスト部**

イラスト部は、現在1年から3年を含め21人となり、部室に入りきらないほどに部員が増えました。毎週月、水、金曜放課

後に楽しく活動しています。部誌の発行も健在で、昨年は、カラー部誌の発行も行いました。

**演劇部**

みなさんお変わりありませんか。昨年度夏大会では、既成を演じ残念ながら地区落ちでした。春大会では一年生中西優希創作『グラフ』で金賞を得ました。たくさん先輩方に応援に来ていただき、ありがとうございました。今年度は1年生8名を迎え元気に活動しています。夏大会は『ぼつくりさん』(既成)を演じます。

**吹奏楽部**

昨年度は飛躍の年で、夏のコンクール、アンサンブルコンテスト、個人重奏コンテストと、出場した全ての大会で東海大会へと駒を進めることが出来ました。又、定期演奏会では千三百人のお客様においでいただき、無事終了する事ができました。今年もベストを尽くし、楽しんで音楽を作っていきます。

**箏曲部**

2年8名、1年4名の計12名で活動しています。三重県高等学校日本音楽演奏会が8月7日、津リージョンプラザで開催されます。その大会に向けて毎週月曜日と木曜日に生田流正派大師範の森雅幸先生が指導してくださいます。演奏曲は「波の戯れ」で、ほとんど仕上がっていて、好成績が期待できそうです。

**箏曲部**

2年8名、1年4名の計12名で活動しています。三重県高等学校日本音楽演奏会が8月7日、津リージョンプラザで開催されます。その大会に向けて毎週月曜日と木曜日に生田流正派大師範の森雅幸先生が指導してくださいます。演奏曲は「波の戯れ」で、ほとんど仕上がっていて、好成績が期待できそうです。

**箏曲部**

2年8名、1年4名の計12名で活動しています。三重県高等学校日本音楽演奏会が8月7日、津リージョンプラザで開催されます。その大会に向けて毎週月曜日と木曜日に生田流正派大師範の森雅幸先生が指導してくださいます。演奏曲は「波の戯れ」で、ほとんど仕上がっていて、好成績が期待できそうです。

**箏曲部**

2年8名、1年4名の計12名で活動しています。三重県高等学校日本音楽演奏会が8月7日、津リージョンプラザで開催されます。その大会に向けて毎週月曜日と木曜日に生田流正派大師範の森雅幸先生が指導してくださいます。演奏曲は「波の戯れ」で、ほとんど仕上がっていて、好成績が期待できそうです。

# 進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス（内、数理コース2クラス）の合計320名でした。進学者数は307名（内男子124名）で、全体の95%が進学しました。ただし、残り4.1%の内3.8%は浪人生でした。

数理コースは卒業生の56.3%が国立大学に、37.5%が私立大学に進学しています。学年全体の35.7%が国立大学の進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は331名、合格者数は131名、入学者数は114名です。合格率は39.5%（入学率は87.0%）でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は139名です。

学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が33.5%（昨年42.2%）を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。今年も昨年同様文学、教育にも合格者が多かったです。さらに今年も全国的にも資格系学部である看護に志願者が集まった傾向がみられましたが、本校でも昨年（3.4%）よりも合格者が増え、昨年と同様な傾向を見ることができまます。

地元三重大への本校の志願者は昨年と同様に今年も多かったです。センター試験後の出願指導と後期まで粘り強く受験した結果、現役合格43名という過

去10年間で最も多い合格者数となりました。難関大では名古屋大に5名の合格者を出すことができました。愛知県立大では前期で志願者が増加しましたが、本校の合格者は例年並みの7名を出すことができ、さらに富山大、金沢大、福井大、島根大、高知大、滋賀県立大などの地域の大学では、センターリサーチ後に志願状況が大きく変わる大学・

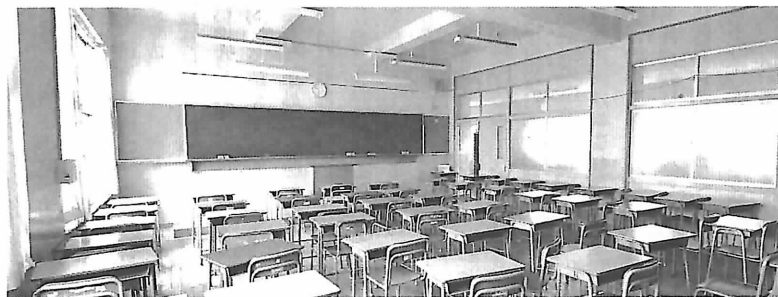
学部も見られましたが、十分な2次対策を行い、後期まで受験しに行くことで合格を得られた生徒が目立った入試でした。1年次からの担任との面談を中心としたきめ細かい指導の積み重ねと、センター試験後の1月後半から2月、3月の対策の成果が表れたと考えられます。

私立4年制大学の延べ受験校数は1618名、重複を除く受験者数は293名でした。平均併願数は5.52（昨年5.03）になります。受験者動向における第一の特徴は、一般入試前期日程の受験者数（延べ858人）が昨年（延べ598人）より大きく増加し、過去5年でも最も多い数となっています。次にセンター利用前期では受験者数（延べ586人）は昨年（延べ597人）より微減し、合格率も46.8%と昨年（57.5%）から下降しました。

学部別の合格状況は、工学系が26.8%と群を抜いて多く国立大と同じ傾向です。ついで、経済・商学系（14.4%）となっています。また国立大では教育学部

部の合格者が9.9%であったのに対し、私立大では4.9%とほぼ半減している状況がみられます。工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによるものを中心とします。今年の工学部系の本校の動向の特徴は、昨年増加した愛知工業大への受験者が引き続き多いことです。また南山大、中部大で受験者の大幅な増加がみられました。

今後とも地域の期待を担う進学校として大いに飛躍したいと考えております。先輩諸氏のご指導と鞭撻をお願い致します。  
（進路指導部 鈴木 正司）



## 2010年入試 大学合格者数（浪人含む）

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格
茨城	1	和歌山	1	滋賀県立	2	明治	2	名古屋外国語	31	京都女子	4	名古屋学芸大短大	1
筑波	1	鳥取	3	大阪府立	2	早稲田	1	名古屋学院	2	同志社	17	名古屋短大	2
埼玉	1	島根	3	兵庫県立	1	昭和音楽	1	名古屋芸術	1	同志社女子	4	京都経済短大	1
千葉	1	愛媛	1	奈良県立	1	帝京科学	1	名古屋商科	6	佛教	3	短期大学計	37
東京医科歯科	1	高知	1	公立大学計	38	岐阜聖徳学園	1	名古屋女子	9	立命館	31	新日鉄八幡記念看護	1
東京海洋	2	福岡教育	1	青山学院	1	静岡文化芸術	1	名古屋造形	1	龍谷	5	中部リハビリテーション	1
横浜国立	3	大分	1	慶應義塾	2	名古屋学芸	8	藤田保健衛生	8	大阪体育	1	創造社デザイン	1
富山	3	国立大学計	101	芝浦工業	4	愛知	20	南山	42	関西	13	トライデントコンピュータ	1
金沢	4	秋田県立	1	順天堂	1	愛知学院	24	日本福祉	2	関西外国語	2	関西美容	1
福井	3	高崎経済	1	成蹊	2	愛知医科	2	名城	117	近畿	15	音楽学校メーサーハウス	1
山梨	1	前橋工科	1	専修	1	愛知工業	40	桜花学園	4	関西学院	11	名古屋美容	2
信州	4	首都大学東京	1	創価	2	愛知淑徳	40	皇学館	23	武庫川女子	1	ペルエポック	1
静岡	6	富山県立	1	中央	5	金城学院	18	鈴鹿医療科学	28	岡山理科	1	トヨタ名古屋自動車大学校	1
愛知教育	1	福井県立	3	帝京	1	福山女学園	23	四日市	1	山口東京理科	1	専門学校計	10
名古屋	6	都留文科	2	東海	3	大同	5	四日市看護医療	12	九州栄養福祉	1		
名古屋工業	4	静岡県立	2	東京農業	4	中京	96	長浜バイオ	1	市立大学計	776		
岐阜	2	愛知県立	8	東京理科	6	至学館	1	びわこ成蹊スポーツ	1	三重短大	22		
三重	43	愛知県立芸術	2	日本	1	中部	41	大谷	1	南山短大	1		
京都	1	名古屋市立	4	法政	8	同朋	2	京都外国語	1	名古屋女子短大	9		
神戸	1	三重県立看護	6	東京都市	2	豊田工業	1	京都産業	4	修文大短大	1		

地域や在校生・卒業生のためにより良い情報を提供していければと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

ホームぺージ右下には四日市市制100周年（1997年）に誕生したマスケットキャラクター「こにゅうどうくん」がゆるキャラとしてホームページを訪れる皆様を癒しと懐かしさの世界へ誘ってくれることと思

進路状況や教育実習にかかわるお問い合わせも見やすく、教育実習に関するお問い合わせや卒業後の各種証明書の申請方法などがわかりやすく掲載していますのでご利用下さい。

長年親しまれた四日市南高校のホームページを平成22年度よりリニューアルいたしました。本校の教育活動の積極的な情報発信として「最新ニュース」を掲載し、各学期の特徴ある行事等をご紹介します。体育祭・文化祭など後輩の活躍ぶりをご覧ください。

http://www.4nan.jp/

同窓会名簿を作成するという名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

# 先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

## 【アンケート項目】

- ①南高を転退職されてから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

## 近藤義孝 先生

- ①南校に13年間勤務した後、転勤して11年目になります。
- ②四日市高校で1年生の担任をしています。今年3月までは10年間いなべ総合学園高校でした。四日市高校へ転勤して、山岳部と生物部の顧問をしています。
- ③日本野鳥の会に所属し、絶滅危惧種の猛禽類チュウヒの保護活動を行っています。7月18日にイギリスからゲストを招いて、「チュウヒサミット2010」を名古屋国際会議場で開催します。また、毎月第4日曜日には鍋田干拓地・木曾岬干拓地で探鳥会をしています。また、空いた土曜日・日曜日には年老いた両親に代わって百姓仕事を始めました。腰が痛くなるような仕事が多いのですが、中性脂肪は激減しました。
- ④ワンダーフォーゲル部の引率でインターハイや夏合宿にいったことです。ハードなコー



スを、たくさん生徒を連れていった夏山は、ワンゲル部員だけでなく、私にも貴重な経験となりました。また、文化祭で、生徒会顧問として、岩下元校長先生を御輿に乗ってもらい、オープニングを始めたことや、橋本元校長にロケットに乗ってもらったことなど、楽しい思い出がたくさんあります。

⑤制服などいろいろとかわったようですが、自由な校風が続いてほしいです。そして、四日市南高校の在校生・卒業生であることに誇りを持って活躍されることをお祈りします。

## 四日市南高等学校同窓会・東京の集い2009を開催しました。

平成21年10月3日(土)、東京・銀座にて南高同窓生の東京の集いが行われました。関東在住の50名を超える参加者たちは、会場の窓の外に広がる銀座の夜景を楽しみながら、とても贅沢なひとときを過ごすことができました。

当日会場には、創立50周年記念に制作されたDVDによる母校の様子が映し出され、久しぶりに顔を合わせた同級生、また初めて会う先輩後輩の方々と母校を思い出すことができ、お世話になった先生方の思い出話にも花が咲いて会場のあちこちで感激の声が上がっていました。

企画いただいた5期矢田智先輩、14期山路熟先輩はもとより浦田先生、粕谷同窓会会長も四日市から駆け付けていただき、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

2010年も10月9日(土)に都内某所で開催される予定。東京での四日市南高校のつながりが広がっています。

申し遅れましたが、私は「南高・東京の集い」幹事の一人四日市市役所東京事務所の岡田良浩(20期)と申します。四日市市役所の東京支部としては、四日市ゆかりの方々がここに集い、東京での安心できる場所でありたいと思い、事務所にサロンを設け皆様をお待ちいたしており

ます。

特に、東京で初めて生活する学生達は、本人だけでなくご家族も不安な面が少なからずあるうかと思えます。四南高の同窓生だけでなく知人の方々にも東京事務所の存在を知っていただき是非とも活用いただきたいと思えます。

四日市市東京事務所  
電話03-3263-3038



「南高同窓会・東京の集い」を東京銀座にて開催しました。

**次回東京の集い**  
平成22年  
10月9日(土)  
**場所**  
都内某所  
(同窓会HPで確認ください。)  
お申し込みは同窓会HPよりお願い致します。

## 教職員異動

平成二十一年度末(敬称略)

- |              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| <b>【退職】</b>  | 校長 中川安久   | 社会 井上泰幸   |
|              | 英語 古市恵津子  | 社会 佐野奏子   |
|              | 事務P 杉田阿津子 | 体育 山崎陽祐   |
| <b>【転出先】</b> |           | 美術 長谷川智彦  |
| 英語 杉本吾郎      | 《伊賀白鳳高校》  | 情報 中村圭吾   |
| 数学 西山 俊      | 《いなべ総合学園》 | 《四日市商業高校》 |
| 理科 西 和典      | 《いなべ総合学園》 | 《皇泉館高校》   |
| 理科 渡部 明      | 《津西高校》    | 《宮川高校》    |
| 国語 若山美紀      | 《神戸高校》    | 《富生高校》    |
|              | 《神戸高校》    |           |
|              | 《新採用》     |           |
|              | 《福生高校》    |           |

## 平成22年度 総会及び懇親会

**開催場所**  
四日市都ホテル

**開催日時**  
平成22年 8月14日(土)

午後2時より理事会  
午後3時より総会  
午後3時30分より懇親会  
(社会人2,000円、学生無料)

## 同窓会役員

会 長	粕谷邦男 (2期)	学 校 長	増田元彦
副会長	田中 正 (2期)	学 務 次 長	中川栄子
	山路 正 熟 (14期)	教 諭	村野玉紀
	鈴木正司 (17期)	〃	〃
書 記	大日方敏之 (15期)	〃	〃
	水谷正美 (23期)	〃	〃
会 計	小柳秀樹 (20期)	〃	〃
	石原正敬 (29期)	〃	〃
<b>【学校側】</b>			
顧 問	増田元彦		
計 画	中川栄子		
理 事	村野玉紀		
	稲垣良二		
	浦田 治		
	廣田育男		
	川井田真澄		
	城 利英		
	西 綾		

**連絡先**  
〒510-8562 四日市市日永字岡山4917  
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局  
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549  
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp